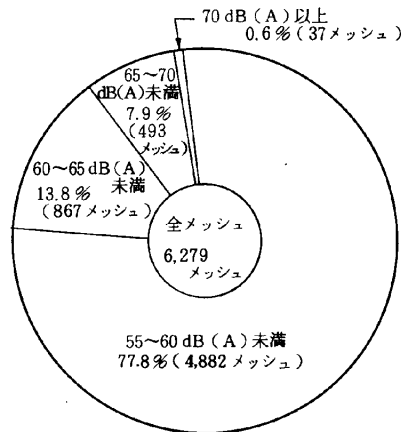
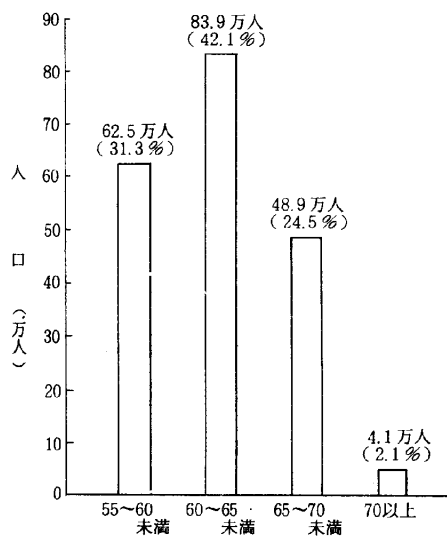


環境騒音の実態調査を実施した13市町の測定地点周辺の主婦を対象とした騒音影響に関する住民の意識調査結果により、住民の反応割合と騒音レベルの関係を、一般的に住民から苦情がでるとされている反応割合30%に対応させてみると、騒音レベルは「全体としてのうるささ」としては65 dB となっており、テレビ、ラジオの聴取妨害～会話妨害としては68～73 dB となっている。

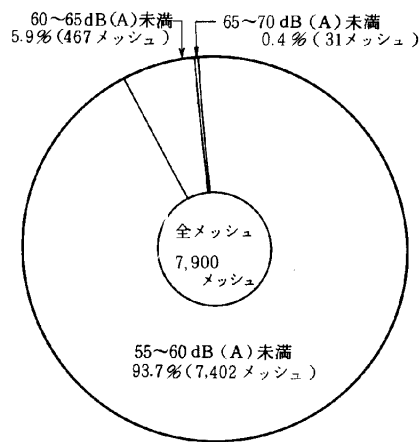
昭和53年度における環境騒音については、前記13市町での騒音実態調査結果と、人口及



「13市町」の環境騒音（昭和53年度）



騒音レベル Leq (昼間値) dB(A)
県全域の環境騒音レベル別推定居住人口
(昭和53年度)



「13市町」以外の市町村の環境騒音（昭和53年度）

び土地利用率などの地域特性指標とをもとに、13市町及び13市町に隣接した一部市町（以下「13市町」という。）については $\frac{1}{2}$ 地域メッシュ（約500メートル×500メートル）単位に、13市町以外の市町村については、基準メッシュ（約1キロメートル×1キロメートル）単位に、それぞれ推計した結果をみると、13市町では全6,279メッシュのうち55 dB 以上60 dB 未満のメッシュが4,882メッシュ、77.8%と高い割合を占め、次いで60 dB 以上65 dB 未満が867メッシュ、13.8%、65 dB 以上70 dB 未満が493メッシュ、7.9%、70 dB 以上が37メッシュ、0.6%となっている。